

図書館には 正規の学校司書が 必要です



学校司書が非正規だと、

- ・児童、生徒が使いたい時に開いていない
 - ・授業で利用したい教諭と打ち合わせの時間が持てない
 - ・授業時間が勤務時間外でサポートができない
 - ・継続して子どもの成長に寄与できない など、
- 子どもたちの読書や学習への支援が十分にできません。
地域や規模による格差をなくし、すべての学校に正規の学校司書がいることが重要です。



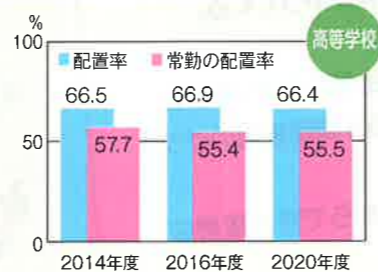
ある県では、非正規ながら継続して学校司書として勤務し、授業利用のサポートや図書委員会指導、ビブリオバトル、地域との連携など活発な図書館活動を行ってきた司書が、突然再雇用されなくなるという事態になりました。募集要項は、司書資格は問わず、パソコン経験のみが問われていたそうです。

せっかく充実した学校図書館のための経験を積んできて、非正規だとそれが活かされません。

専任・専門・正規の学校司書の配置を

公立学校の司書配置率(%)

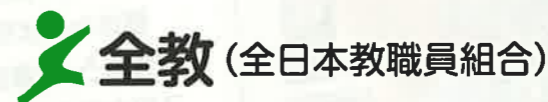
文部科学省「学校図書館の現状に関する調査」より



すべての学校に 学校司書を!



学校図書館は、豊かな人間性、自ら学ぶ力、生きる力をはぐくむ大切なところ。その機能を十分に果たすためには、専任で専門性を持った正規の学校司書の存在が不可欠です。



発行：全日本教職員組合 学校司書部・学校図書館職員対策部
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階
TEL：03(5211)0123 FAX：03(5211)0124 Email：zenkyo@educas.jp



学校司書(小学校)の声

中間休み開始と同時に子どもたちがやってくる。「こわいお話ある?」「ヤマメのこと知りたい!」一人ひとりの声に丁寧に答える。ほしい本が借りられて満足そうな笑顔。放課後は司書と話したり、自分の読みたい本に向かったり。コロナ禍のもと、我慢ばかりの子どもたちの心に寄り添い、ふれ合う時間を大切にしている。授業で使える資料を準備して先生方を応援する。手に取って読みたくなるような本の展示を工夫する。子どもたち(先生方)にとって図書館がほっとできるすてきな空間であってほしい。そんな図書館づくりをめざし司書は日々奮闘中だ。



先生(高校)の声

授業中、生徒が学ぶ場を変えることには多くの意味が付随する。教室で黒板に向いている机をグループワークのために動かすだけでも生徒の学習活動は変化する。特に大きな学習効果が期待できるのは生徒が図書館に学びの場を移す時だ。調べ学習のツールとしての蔵書も多様な学習機会として重要であるが、それ以上に司書の先生が存在が大きい。指導上、生徒と完全な上下関係にならず、生徒と司書の先生の緩やかなつながりが学習主体の生徒を心理的にケアし、学びの土台となる安心感を生徒の中に生み出すからだ。



生徒の声

司書がいる学校図書館は・・・

- ・新刊本や、リクエストした本がすぐ入るので嬉しい!
- ・いつも開いているので、入りやすい。
- ・探している本の相談に乗ってくれたり、本を紹介してもらえたりする。



読みたい・知りたい 学びたいを支える 学校図書館への声

保護者の声

- 保護者として高校の図書館に希望することは、
- ①登校してから下校するまで、授業時間以外は何時でも自由に利用できる。
 - ②書籍の貸出しはもちろん、調べ学習についての相談や書籍の提供もしてほしい。
 - ③読書嫌いな子どもにも本が手に取れるように教室にも置いてほしい。
 - ④新しく入った本の紹介を何か所もある校内の掲示板で紹介してほしい
専任の先生がいてくれたら希望は叶うのかなあ



学校司書(兼任)の声

キンコーンカーンコーン...
朝のチャイムと共に換気扇を作動させ、扉をあけ、机を消毒する...一日が始まる。パソコンの電源を入れ、昨日返却された本の手続きをする。購入した新しい本のデータを入力をし、装丁をし、本棚に並べる。「せんせーい!この本の続きある?」と休み時間に生徒がやってくる。「めっちゃ面白いで!ありがとー!」
昼休みには司書に話をしにくる生徒、本の続きを読む生徒たちで、静かににぎわう。新着図書だよりを作成し、図書委員と一緒に10分間読書用のクラスの本箱の本を選ぶ。
この何気ない図書館の一日も、専任の学校司書がいたからできた風景なのです。



学校司書(高校)の声

学年全体などで一斉に何か調べる際には、膨大な数の資料が必要になります。近隣の学校や公共図書館から資料を探して借りてきたり、生徒が資料を活用できるように授業の際はサポートをしたり、司書の役割は大切です。また、探究などの授業にあたっては、資料探しに関して知識を持っている司書ならではの一人ひとりに対するきめ細かいアドバイスやサポート、ガイダンスの授業を担当するなどの役割も果たしています。授業の際もそうでないときも、司書がそこにいることによって、教員や生徒から心強く思ってもらっているのではないかと思います。

